

# あさかわ

議会だより

No. 114

平成31年2月6日

福島県浅川町議会



若い力を  
町づくりに

— 平成最後の成人式 —

満席の傍聴 江田町長初議会	2
郡山市との連携協約を可決	4
一般質問 10人の議員が町政を問う	6
宮城県七ヶ浜町議会が来訪	16
追 跡 県道・町道の歩道整備を	18
町民の声	20

# 満席の傍聴者迎え 江田町長初の12月議会

12月議会定例会は、12月6日から10日までの5日間の会期で開かれました。一般質問では、10人の議員が33項目について質問し、活発な議論が展開されました。また、条例の一部改正や補正予算などを審議しました。



▲一般質問には多くの方が傍聴に訪れました

私は町政を担当するに当たって「子育て支援」「文化スポーツで元気な町づくり」「医療、福祉」「企業育成」「農業・商業・工業」「若者の定住」の6つの決意で浅川の未来を見据えながら政策の実現に向け、町民の目線に立った行政運営を担ってまいります。

花火の里として長い歴史と伝統を持ち、自然豊かな美しい町、これを受け継ぎ次世代に残していかなければなりません。このような考えを念頭に置きながら行政運営に取り組んでまいります。

町長  
あいさつ

# 条例改正

町長給与の10%カット  
平成31年9月まで行う

町長の給与月額を平成31年1月1日から31年9月30日まで、10%減額するもの。

## 【質疑】

**問** 町長給与の10%カットを引き続き行うという提案だが、今までは町長の任期中は減額するというものだったのに、今回は議員の改選の9月までとなっている。これは、10%カットはもうやめたいという含みなのか。

**答** 議員と同じ31年の9月30日にしたのは、日本全国議員のなり手がいない。それは、議員だけでは生活できないということがある。それで議員と同じく私もこの報酬に関して議員の方々に判断していただきたいと思っている。

若年層の職員給与を引き上げ

福島県人事委員会の勧告に基づき、月例給、期末勤勉手当、通勤手当の改正を行うもの。

## 【質疑】

**問** 日直手当が4200円から4400円に上がるが、日直をしてもらえるのはこれだけなのか。

**答** 土日、祝祭日、年末年始に職員が交替で日直に当たっているが、現在であれば4200円だけで、代休もない。

**採決** 賛成10人、反対1人で可決しました。

## 【採決】

賛成10人、反対1人で可決しました。

議員の期末手当引き上げ

議員の期末手当を0・05ヶ月分引き上げ、夏・冬とも1・65ヶ月分とする

## 【質疑】

上げた。

## 【討論】

**問** 町民の実質的な収入は増えず、年金が下がっている状況の中で、手当を引き上げることが町長はどう認識しているのか。

**答** 働き手がなく今企業も困っているし、職員も同じだと思う。この手当については妥当だと思っている。職の期末手当を引き上げるべきではない。

## 【採決】

賛成9人、反対2人で可決しました。

## 【問】

今回の改正でベテラン職員は給与が上がらないと説明されたが、上がる職員、上がらない職員、それぞれ何人か。

**答** 給与改定に該当する職員は47名、該当しない職員は26名となっている。

## 【採決】

全会一致で可決しました。

町長の期末手当の引き上げ

職員と同様に期末手当を引き上げるもの

## 【採決】

賛成8人、反対3人で可決しました。

# 正算 補予

## 平成30年度一般会計補正予算

歳入歳出に554  
9万円を追加し、総  
額を34億9713万  
円とするもの。

### 〔主な歳入〕

○個人町民税の現年課  
税分 3000万円

○固定資産税の現年課  
税分 1900万円

### 〔主な歳入〕

○住宅管理費で城山第  
2団地3棟の外壁修  
繕で不足が発生した  
ため 200万円

○公民館費でホールの  
外入口にスロープを  
設置する工事費用と  
公民館のトイレ様式  
化工事費用  
168万円

### 〔質疑〕

**問** 以前、児童クラブ  
の現状は、過密で危険  
だと質問したが、新年  
度は、この児童クラブ  
に対してどのように対  
応するのか。

**答** 夏に一度、教育委  
員会、小学校と協議を  
している。現在空き教  
室になっている2階の  
教室を利用し、教室を  
増設して実施したいと  
考えている。

**問** 公民館費の工事請  
負費についてどのよう  
な内容なのか。公民館・  
町民体育館は耐震工事  
をしていないが今後ど  
うするのか。

**答** ホール入口にスロー  
プを設置する工事と、

ウォッシュレット付トイ  
レを4台設置する工事  
です。耐震工事につい  
ては、今後十分検討し  
たいと思う。

### 〔採決〕

全会一致で可決しま  
した。

# 連携 協約

## 郡山市と浅川町との連携中枢都市圏 形成に係る連携協約の締結に関する 協議について

### 〔目的〕

#### 第1条

この連携協約は、郡  
山市及び浅川町が連携  
することで、人口減少・  
少子高齢社会にあつて  
も、活力ある地域経済  
を維持するとともに、  
住民が安心して快適な  
暮らしを営むことがで  
きる圏域を形成するこ  
とを目的とする。

### 〔基本方針〕

#### 第2条

郡山市及び浅川町は、  
前条に規定する目的を  
達成するため、次条に  
規定する取組について  
相互に役割分担をして  
連携を図るものとする。

(以下略)

### 〔質疑〕

**問** 以前行われた郡山  
広域圏行政は失敗だっ  
たと思う。その教訓が  
生かされているのか。

**答** 私は失敗ではなかつ  
たと思っている。

**問** 教育の問題一つとつ  
ても今高等学校の定員  
割れが続いており、統  
合が心配。今後郡山に  
一極集中するような危  
惧をもっている。どの  
ように考えているのか。

**答** 一極集中には、私  
はならないと思ってい  
る。

いた郡山市との連携で  
はなく、町の各種計画  
に盛り込まれている町  
行政と町民との連携で  
ある。拙速な協定には  
反対する。

### 〔議員〕

一極集中の  
典型的なものである。

郡山市を中心にしてが  
進むことになる。私は  
反対する。

### 〔議員〕

まだまだ不  
明な点がいっぱいある。  
先々が見えないこうし  
た議案には軽々に賛成  
すべきではない。

### 〔採決〕

賛成6人、反対5人  
で可決しました。

### 〔討論〕

― 反対討論 ―

上野議員 今町が取り  
組むべきは、降って湧



城山第2団地の改修工事

# 人事

## 副町長の同意を否決

**田中議員** 須藤氏の強い信念と明晰な頭脳がこれからの浅川町には欠かせない。

**【採決】**  
賛成4人、反対7人で否決しました。

住所

浅川町大字大草字滝ノ沢74番地

氏名

須藤 良正

生年月日

昭和30年4月生まれ

## 【質疑】

**問** 課長時代に住民から出された世帯分離の申請を拒否した人だが、本場に町民の立場に立った職員づくりができると思うか。

**答** 優しい思いやりがある人間で、一生懸命やってくれると思う。

## 【討論】

— 賛成討論 —

**角田議員** 町民に寄り添った対応をさせるといふ町長の言葉を信じて賛成する。

**【採決】**  
賛成4人、反対7人で否決しました。

## 人権擁護委員の推薦

住所

浅川町大字浅川字本町91番地の1

氏名

本多 強

生年月日

昭和53年4月生まれ

## 【討論】

— 賛成討論 —

**上野議員** 本多氏は法律の専門家で人権意識が豊かであり適任だと思う。

**田中議員** 若きリーダーとして、人格、識見を十分兼ね備えた有能な人物である。

住所

浅川町大字大草字五斗時81番地の1

氏名

佐川 春美

生年月日

昭和34年4月生まれ



## 【採決】

全会一致で同意しました。

## 12月定例会採決一覧 ○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない

全14議案中 8議案は全会一致で可決しました

議案名	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	緑川富士男	笹島亮二	水野秀一	田中重忠	上野信直	角田勝	久保木芳夫	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
議会議員等及び職員の給与の特例に関する条例の一部改正について(町長給与減額)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	可決(10：1)
浅川町長等の給与に関する条例の一部改正について(町長期末手当の引き上げ)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	可決(8：3)
郡山市と浅川町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	—	可決(6：5)
副町長の選任につき同意を求めることについて	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	—	否決(4：7)
教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	—	否決(4：7)

# 10人の議員が質問

(通告順)

## 1 久保木 芳 夫 議員

- (1) 町長選に掲げた各助成について
- (2) 前町長が行ってきた各種行事等について
- (3) 町、基幹産業である農業施策は

## 2 金 成 英 起 議員

- (1) 新町長の経歴について
- (2) 町長の給与の削減について

## 3 田 中 重 忠 議員

- (1) 滝大川橋の改修工事について
- (2) 巡回バス試運行について
- (3) 宅造販売に取り組む全員協議会の開催を
- (4) 公金横領問題の最終解決について
- (5) 浅川座の安全対策について

## 4 須 藤 浩 二 議員

- (1) 選挙公約の実現について
- (2) 来年度の町総合健診はどのように実施するのか

## 5 渡 辺 幸 雄 議員

- (1) 子供、高齢者、障がい者の住み良い町づくりについて
- (2) 介護職員の増加、給与アップについて
- (3) 農・商・工業の活性化について

## 6 水 野 秀 一 議員

- (1) 新町長の6つの決意について
- (2) 浅川町の人口減少対策について

## 7 岡 部 宗 寿 議員

- (1) 選挙時の公約の件について

## 8 上 野 信 直 議員

- (1) 公約でもあるガン検診の無料化は新年度から直ちに実施すべきではないか
- (2) 3分の1近くが残っている花火の里ニュータウンの分譲にどう取り組むのか
- (3) 避難所にもなっている小中学校の体育館に速やかにエアコンの設置を
- (4) 国保税滞納者に対する杓子定規なペナルティ措置は改めるべきではないか
- (5) 住宅が増えている背戸谷地西部地域での公共下水道建設の計画は
- (6) 何の行事の花火が上がるか、前日に防災無線で放送することはできないのか
- (7) 少子高齢化の進行という難問を前にどのような役場職員づくりをめざすのか

## 9 角 田 勝 議員

- (1) 町長の公約である小学生、中学生、高校生への入学祝補助事業は来年度から実施するのか
- (2) 介護支援の初めに以前、町がやっていた在宅介護激励金と在宅介護料半額補助制度の復活をすべき
- (3) 若者の雇用・定住を図る、企業誘致等にどう取り組むのですか
- (4) 農地の荒地化防止に管理費や小規模土地改良(暗渠、ならし)事業に補助制度をつくること
- (5) 特別養護老人ホームの増設で待機者なしの努力をすべき
- (6) 町道敷(ノリ面、公共水路)の草刈り等を町が責任持って行うべき
- (7) 里白石、山白石小学校施設の利用対策を急いでとりくむべき

## 10 笹 島 亮 二 議員

- (1) 町長の理想とするこれからの浅川町の姿を

町の考えを  
ただす

町民の声を  
伝える

町政に  
生かす

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に  
一般質問は12月7日に行われ、10人の議員が質  
問を行いました。29の方が熱心に傍聴されまし  
た。

※浅川町議会の一般質問は、時間制限はありません  
が、1問について質問は3回まで(質問、再質  
問、再々質問)というルールで行われています。

# 一般質問

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に  
疑問点をただし、所信の表明を求めるものである

# 公約の財源をどうするのか

## 工夫し捻出してゆく



久保木芳夫議員

**問** 選挙期間中、公約の中で各種補助金、保育所、検診等の無料化を訴えていたが、我町は財政的には決して恵まれていないと認識している一人として伺う。毎年、予算、決算の提案が執行部より出され、質疑、討論されてきており、厳しい財政状況の中で健全財政が維持されてきた。もし健全財政がくずれた場合、財源のない中でどのような施策を出すのか、この負担を、町民に課すようなことになっては問題である。町長の認識を伺う。

**町長** 公約に掲げた各種事業については、平成31年度で子育て支援として浅小入学祝金を創設したい。また医療、福祉では、各種がん検診の無料化を行いたい。なお財源については、一般財源を工夫し、捻出し行つてまいりたい。残りの公約については、順次行うよう検討を重ねてまいりたい。ご理解をいただきたい。



中学生の歴史探訪でのホタテ釣り

## 前町長時代の各種行事等の開催は

### 中学生の歴史探訪は終了する

**問** 前町長が行ってきた、

- ① 花火の里ロードレース大会
- ② 健康ハイキング・雲五郎山開き
- ③ 中学生の歴史探訪・野田村との交流
- ④ 吉田富三記念館の行事・詩を書こうコンクール・富三レストラン
- ⑤ 花火の里、四季の花火大会

**町長** ①今後も継続していく。

②健康ハイキングは参加者も少ないことからとりやめし、雲五郎山開きについては、実行委員会を実施することから今後検討する。  
③中学生交流については所期の目的が達成されたため終了する。  
④点目、⑤点目については継続してまいりたいと考えている。ご理解をいただきたい。

# 新町長の経歴は

## 学校法人東京実業高校に入学した



金成英起議員

**問** 町長は、中学校卒業後キックボクサーを目ざして上京し、17歳でプロデビューしたそうだが、デビューまで付き人の経歴があるなどと話しをしている。東京実業高中退ということだが、そもそもそのような時間があったのか。その後、ゴルフ場勤務など経て平成15年に浅川町議選に初当選し、以後4期15年務めた。その間現在まで、会社等に勤めはなかったのか。

**町長** 昭和46年3月に上京し、4月1日から、学校法人東京実業高等学校に入学し、野口プロモーションでキックボクシングの練習生となり、昭和47年9月プロデビューした。その後、地元に戻り、ゴルフ場に14年間勤務。議員の間は、会社員として18年間、平成30年10月30日まで勤務をした。「あづまっぺ」の副理事長については、何の支障もないので、このまま続ける。

**問** 議会議員等及び職員の特例に関する条例により、特別職の減俸はやっていると、新町長の給与削減はどうなるか。江田町長の資産公開はどうなるか。

**町長** 給与の削減については、平成31年1月1日から31年9月30日まで行い、それ以降については、今後、議員の皆さまと相談させていただき、資産等報告書等の作成は、任期開始の日から起算して100日を経過するまで、平成31年1月中に作成する。所得等報告書の作成は、平成32年4月

# 町長の給与の削減は 平成31年9月以降は 議員と相談する





# 巡回バス利用者の調査を しっかりと



田中重忠議員

## 利用状況等を検討する

**問** ①巡回バスを必要とする人が、どの地区に何人程度いるのか事前に調査すべきではないか。  
②乗車希望者がいない地区は最初から計画に入れるべきではなく、まず対象地区の調査選定をしっかりとやるべき。  
③対象者は前町長の言う免許返納者ではなく、高齢の交通弱者、買物弱者に限定して考えるべき。  
④まず対象者の有無を調査し、運行を決めるべきではないか。

**町長** 行政報告でも申し上げたが、平成29年度より試運行を行って12月末をもって終了した。平成31年度からはこれまでの利用状況を検討し、運行を行ってまいりたいと考えているのでご理解をいただきたい。



危険な状況にある旧浅川座

## 危険家屋撤去、町の方針は

### 町が行える対応策を調査・ 検討したい

**問** ①町は町内の危険家屋を撤去して町民の安全を守ることを念頭に、もっと真剣に取り組んで頂きたい。  
②当該家屋の撤去費用はどれくらいかかるのか、具体的に調査検討すべきではないか。  
③危険家屋撤去について、町としての今後の方針と考えを聞きたい。

**町長** ①危険家屋撤去に対する国の補助制度は、家屋の撤去費用の補助を行っている市町村に対し国が補填する補助制度がある。しかし危険家屋は個人の財産であり、町の公金を投じて撤去することは困難である。危険家屋付近の通行人に危険が及ばないよう注意喚起を行うなどしたい。  
②家屋の撤去費用については、個人の財産であるため現在のところ調査する考えはない。  
③今後とも所有者に対し早急に解体撤去いただけるよう連絡し、町が行える対応策を調査・検討したい。

# 公約実施の財源の確保は

## 一般財源を工夫し捻出する



須藤浩二議員

**問**

①選挙において6つの公約を掲げていたが、優先順位をつけるのであれば、どのような順番で実行していくのか。

②財源の確保はどうするのか。

③現在の職員数で対応できるのか。

**町長**

①公約の優先順位については、いずれも重要な課題とされている。特に、「子育て支援」「医療・福祉」を進め、残る4つの政策についても、検討しながら行っていく。

②厳しい財政状況ではあるが、一般財源を工夫して費用を捻出していく。

③適正な人事配置を行い、実現に向け行っていく。



健康を守るため町の集団健診を受けましょう

# がん検診の無料化は

## 新年度から実施したい

**問**

選挙公約の中に、町総合健診の胃・大腸・前立腺・乳がん等、各種がん検診無料化とされているが来年度から実施するのか。

**町長**

現在、有料となっている大腸がん検診等の各種がん検診については、新年度から無料化できるように準備したいと考えている。

# 若者が定住、移住できる環境を



渡辺幸雄議員

## 支援の充実を模索していきたい

**問** ①町として一番に取り組む課題は、少子高齢化が進む中で若者が定住、移住できる環境を整え、人口減少を抑えること。それが住みよい町づくりと思うが考えを伺いたい。  
②他の市町村に比べ子ども、高齢者、障がい者が住みよい町ではないのか、住みよい町とはどんな町なのか、考えを伺いたい。

**町長** ①少子高齢化は、我が町だけでなく全国的な社会現象となっていて、効果的な政策は大変難しいと認識している。若者が定住できる環境、働く場の確保や子育て支援の充実などを考え、今後は政策を模索しながら町づくりを図りたい。  
②各福祉関係施設等の整備、各助成制度、補助制度の充実が必要なものと思う。第一に高齢者、障がい者が安心して暮らせる町、子どもたちが安全に生活できる環境が最も重要と考えている。

**町長** ①介護保険制度については、介護サービス利用の急速な負担増、地域包括ケアシステムの構築を目ざして平成27年度に制度改正が行われ、介護職員の不足や待遇の改善については、超高齢化を迎え社会的な重要課題である。町行政が率先して

**問** ①介護職員は大変な仕事であることはわかるが、選挙公約で職員の増加、給与アップを提言しているが、財源等はどうするのか具体的に説明願いたい。  
②利用者の負担をお願

# 介護職員の給与アップ 財源等はどうするのか

## 介護職員の重要性を訴えたい

①介護職員は大変な仕事であることはわかるが、選挙公約で職員の増加、給与アップを提言しているが、財源等はどうするのか具体的に説明願いたい。  
②利用者の負担など財源等には関連がないと思う。



だんご刺しで小正月をお祝い（地域福祉センター）

## 6つの公約を来年度予算化するのか

### 来年度は浅川小学校入学祝い金、ガン検診無料化を行う



水野秀一議員

**問** 新町長の当選おめでとうございます。

町長は次の6つの選挙公約をされたが、それぞれ伺う。

①子育て支援  
「赤ちゃんから大人になるまで手厚いサポート」

②医療福祉

「安心安全な広域医療」

③農業商業工業

「公共事業地元業者優先」

④文化・スポーツで元気な町づくり

⑤企業育成

「国・県にトップセールス」

⑥若者の定住

また、「空き家の利活用」などの公約も

しているが、来年度予算に反映させていくのか。

**町長** 公約に掲げた事業については31年度では浅川小学校入学祝い金の創設、各種がん検診の無料化を行う。

農業に関しては、本町は米が主だと思っている。担当者あるいは私も農業の方とさまざまな話をしていきたい。いろいろと指導をお願いしたい。

町長は米が主だと思っている。担当者あるいは私も農業の方とさまざまな話をしていきたい。いろいろと指導をお願いしたい。

## 工場誘致や子育て支援を積極的に

### 国や県にトップセールスで



平成31年を最後に進まない企業誘致

**問** 先日開催された在京浅川会の総会の席上、在京の方々より浅川の広報が届くたびに心配していると言った。

なんでですかと聞くと、町の人口が毎月毎月減っていくので大変心配していると言っていた。

今度2つの小学校が統合すると、里白石も山白石もさみしくなっていくばかりです。話された。少しでも人口減少を食い止めるためにも、工場誘致や子育て支援を積極的に進めるべきではないか。

**町長** 工場誘致については私も一生懸命やらせていただく。国や県に、トップセールスで何度も何度も足を運びたいと思っている。今ある企業の皆さんとも話し合いをし、町の若い人たちの雇用をお願いしたいと思う。

また町にあった会社

が他町村に行くようなことがないよう、一生懸命頑張る。

# 小中学校体育館に 速やかにエアコン設置を



上野信直議員

## 補助事業があれば設置を検討したい

**問** 今年のような酷暑は今後毎年続くことが予想されている。児童生徒の健康を守るため学校の暑さ対策を9月議会で質問したが、体育館にエアコンがなく、体育活動を中止した等の状況が明らかになった。体育館は町防災計画で、災害時の避難所にも指定されている。体育館が避難者であふれるような事態はないにこしたことはないが、町は万が一に備えねばならない。体育館へのエアコン設置には国の補助事業もあるので、積極的な取り組みをすべきではないか。

**町長** 熱中症対策として浅中、浅小とも業務用扇風機を購入する予算をとった。エアコン設置については、補助事業があれば、子どもたちが安心して勉学できるよう、設置を検討してまいりたい。

**学校教育課長** 今年度より国が冷房設置の対応臨時特別交付金を設けた。補助率は3分の1となっている。各体育館の冷房設置については、建物の構造、現在の状況、築年数等も考慮し、さらには財源の確保も考慮して慎重に総合的に判断したい。



浅中用に購入された業務用扇風機

# 国保税滞納者に対する 杓子定規なペナルティ措置は改めよ

## さらに検討していきたい

**問** 国保税滞納者に対し町は、滞納者の事情を問わず滞納が1年以上になると、普通の保険証ではなく有効期間が2ヶ月しかない短期保険証か、医療機関の窓口で全額支払わなければならぬ資格証明書を発行するという、杓子定規なペナルティを科している。このため浅川町の短期保険証の発行割合は、県内平均をはるかに上回る異常な事態になっている。納めたくとも納められない、誰もが同情するような事情のある人には、こういう対応を改めるべきではないか。

**町長** 国保税滞納者に対する措置に関しては、収納担当課である税務課と協議を行い、できる限り滞納者と交渉の場を持つように努力している。ペナルティ措置に関しては、滞納者の実情に応じて短期保険証の発行を行うようにしているが、さらに検討して議員が望んでいるような方向でまいりたい。

資格証明書の発行については、発行しても収納に結びつく効力が少ないため、今年度から交付しない方向で進めている。

# 小・中・高校の入学祝金と補助金の実施は

## 小学校入学は3万円、中高は検討中



角田 勝議員

**問** 町長は「特に子育て支援に力を入れ来年度から入学祝いとして1人3万円のランドセル購入補助金と、中学入学祝いとして制服代、高校入学祝いとして通学費の補助金を検討します。介護支援にも特段力を入れる」と公約した。必ずこれらを実年度から実現するのか。

① 具体化されていない中学生への制服代補助は1人いくらなのか、その内容は。

② 高校生通学費補助はいくらでどのようにするのか。専門学校（高校程度）生へも補助は当然と考えるがどうか。

③ 各々の生徒数と予算



今日も元気に行ってらっしゃい

はいくらか。

**町長** ①、②中学生への制服代補助、高校生通学費補助の額や内容については、今後検討してまいります。

③ 小学校入学者は53人、中学校入学者は60人の予定で、高校入学者については、現在の中学3年生は78人となっている。

また、来年度については浅川小学校入学祝金として1人3万円を考えているので、費用については159万円を予定している。

# 在宅介護激励金、在宅介護サービ ス利用料半額補助の復活を

## 諸事情があつて現在に至っている

**問** 以前町がやっていた、在宅で介護をしていた方々への激励金制度と在宅介護サービス利用料半額補助をもとの通り行い、その労に応えるべきではないか。両制度とも町民に喜ばれていた制度だった。議会でも請願が採択され、当然復活されるべきものだったがなかった。

① 以前の制度では何人該当で、いくら補助されたか。何年実施されたか。

② 在宅介護をされている方々への心のこもった補助制度ではないか。

前のように復活すべきではないか。

**町長** ①在宅介護激励金は、以前は要介護高齢者等介護者手当という名称で平成24年度まで、社会福祉協議会の委託事業として支給していた。24年度実績では29人、58万円だった。在宅介護料半額補助金は現在も、介護保険利用者負担者軽減対策事業として町民税非課税世帯限定で実施している。29年度は63人、239万円となっている。

② 介護をしている方々

には良い制度だったかと思われるが、介護保険法が成立し、介護給付の充実が図られ、諸事情で現在に至っていると思っている。

## 公約はどのように実行するのか



岡部宗寿議員

### まず小学校の入学祝金を創設する

**問** 町長は選挙公約で来年度からランドセル購入補助金3万円を支給と金額を入れておいたが、その他は金額を入れず、幼稚園の無償化、中学入学祝いとして制服購入補助金、高校入学祝いとして通学費補助金の支給とだけ書かれてあったが、どのくらいの金額を考えているのか。またその他に子どもの予防接種全額補助、各種がん検診無料化、特定不妊治療不育症治療の補助、空き家取得時に補助金を出す明記されているが、その財源はどうするのか。



61人が入学した平成30年度浅川中学校入学式

**町長** 選挙公約に揚げた各種事業については、平成31年度で子育て支援として、浅川小学校入学祝金を創設したいと考えている。また、医療・福祉では各種がん検診の無料化を行いたいと思っている。財源については、一般財源を工夫して費用を捻出していく。

## 町長の浅川町の将来像は

### 住みよい町づくりを目指す



笹島亮二議員

**問** 今まで、討論や一般質問の中で、町長は計画などいろいろ思いを述べられたが、私もまた重複すると思うが、改めて、浅川町の将来についての町長の理想はどういうものを描いているのか、もう少し踏み込んだ話を聞きたい。

**町長** 私は、町政を担当するに当たり、子どもたちの未来、浅川町の未来を見据えながら、町民の皆様と会話をし、町民の視点に立って、子ども、高齢者、障がい者の住みよい町づくりを目指したいと思っている。まず、特に子

ども、高齢者、障がい者が安心して歩行できるように町内の歩道整備、樹木が歩行する際に邪魔をすれば伐採を進めたい。



段差が目立つ歩道



# 研修 してきました

## 岩手県金ヶ崎町議会訪問

—広報づくりを研修—



9月26日から27日の2日間、岩手県金ヶ崎町議会を訪問し、視察研修しました。同町は全国トップレベルの議会だよりを発行しています。議会だよりの発行方針として「ありのままに解りやすく」、「スピード発行」を掲げ取り組んでいることなどの説明を受けてきました。私たち議会広報委員には、より以上に町民がわかりやすい議会だよりを作るうえで大いに役立つ研修でした。

## 宮城県七ヶ浜町議会来訪

—議会だよりの製作を研修—

11月1日、宮城県七ヶ浜の議会広報委員会の皆さんが、町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞した浅川町議会を研修に訪れました。一行は岡崎正憲委員長他4名の委員さんで、円谷忠吉議長が歓迎を述べました。研修では、議会だより作りに多くの質問が活発に出されました。





# 東北の ミケランジェロ

## 故 生田目禄維門家(破石) 棟飾り石

藁谷六朗 (文・写真)

小松 寅吉  
(こまつ とらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。



県道276号線を浅川町から石川町方面に進み、山白石小学校を過ぎ小高い坂道を登ると破石集落が正面に見え、その中央に大きな家があります。棟に山石の屋号と家紋四木瓜が中央に取り付けてあり、石との関係があるのでとは思いますが、訪ねてみました。

故禄維門さんの妻、安佐さんの説明を受け、石の販売をされて年中石工が働いていた話を聞きました。庭には大きな棟飾り石が植木の間に設置されています。

木羽屋根の左右に取り付けてありましたが、トタン屋根の葺き替え時におろされました。  
※棟飾り石は波の間に四木瓜家紋を中央に置き安定したつくりです。  
この大きな住宅は

明治後期に越後からの大工と地元の大工棟梁円谷留吉たちが手伝い、越後技術を習得との話もあります。

西側離住宅の棟に獅子を彫りこんだ棟飾り石が北側を向き、災いを寄せ付けない風格でいらんでいます。また、裏庭には南を向き角柱上に鋭い眼光で立つ不動明王石像があり、過ちを犯す人を恐ろしい形相で一喝し、正しく見捨てることなく手を差し伸べる役目を彫り込んでいる小

松寅吉作の不動明王が設置されています。角柱の角穴に木札が書き残されて、神武天皇即位紀元2561年の節目を祝い、明治34年に願主当家代4代の孫生田目周蔵34歳が、石工小松寅吉58歳に依頼し不動明王を建立したことが木札に明記されています。

小型な石像ですが朝陽に照らされた不動明王像は、小松寅吉翁の信念を、見る者に言葉にできない表現で伝えているような気がしました。

この大きな住宅は



あの提言はどうなってるの？

県道、町道の歩道整備は

平成30年6月定例会

答

荒町地内の改修は県の事業により今年度から実施予定となっている。本町地内は、来年度からの実施予定です。

問

縁石などの傷みが激しい両町内旧道118号の歩道改修の促進を

平成27年12月定例会

答

県の事業により地元説明会を実施し事業に着手、町道の歩道整備についても交付金事業で取り組む予定。

問

県道及び旧国道の傷んだ歩道部分の改修計画はどうなっているのか。

県により進められている荒町地内の歩道改修工事



議会傍聴においでください

3月議会は3月5日(火)から、一般質問は6日(水)の予定です

# 古里 写真館

Vol. 9

Photograph

## 交流のページ



昭和32年頃 白山比咩神社例大祭／本町 芳賀元樹氏提供  
子供たちの踊り、秋祭りには、民家の軒下などに仮設のステージをつくり踊りなどを行い社会行事に参加、奉納する子供たち。

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182



昭和23年頃 荒町の若人たち／荒町 金成英起氏提供  
戦後青年団主催による素人演芸会が盛んに行われた。自作自演の舞踊、楽団などで人々を楽しませた。弘法山公園内、馬頭観音堂前での一コマ。

# 町民の声



小貫即身仏保存会会長

薄井良男さん

## 以前は20年に1度のご開帳の秘仏でした

即身仏「弘智法印有貞」  
天正19年（1591年）4月8日、現在の島根県に当たる出雲国に生まれた有貞法印は、仏門を志して諸国を行脚し、最後の信仰の地として訪れたのが浅川町だったと言われています。浅川町では、村人の願いを受けて加持祈禱を生業としていました。

天和3年（1683年）、薬師如来大祭を開催、村民一同を集め「薬師如来十二大願」を説法。薬師如来十二大願とは、薬師如来が悟りを開く前に、人々の病気を治し長命させようとして立てた十二の誓いのこと。

背景には、悪性の流行病が蔓延していて、人々が苦しんでいたと思われる。「わが身を留めて薬師如来たらん」と言い入定、即身成仏だったと伝えられ

ています。

昭和49年に学術調査が実施され、修理と永久保存処置が終わり、現在のガラスケースに納まっています。

以前は秘仏扱いとされ、20年に一度のご開帳でした。日常的に一般拝観ができるように、昭和50年に「即身仏保存会」も結成されました。



昨年は全国から350の方が訪れました



### 編集後記

町民の皆様にご挨拶と新年の御祝詞を申し上げます。広報委員一同、読みやすい議会だよりの発行を心がけていきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします。本年が町民の皆様にとって幸多き年でありませう心からお祈り申し上げます。 渡辺 幸雄

広報特別委員会 上野 信直 須藤 浩二 渡辺 幸雄  
金成 英起 水野 秀一 久保木 芳夫